

プロトコール名 テセントリク+BV+PTX/CBDCA併用療法

- 進行・再発癌 術後補助化学療法 術前補助化学療法
 大量化学療法 局所療法 その他()

投与順	抗癌剤名(商品名・略号)	1日投与量	投与方法	投与時間	投与日(d1, d8等)
1	アテゾリズマブ(テセントリク)	1200mg/body	div	初回60分 2回目以降 30分	d1
2	ベバシズマブ(アバステン・BV)	15mg/kg	div	初回90分 2回目以降 60~90分 3回目以降 30~90分	d1
3	パクリタキセル・PTX	200mg/m ²	div	3時間	d1
4	カルボプラチン・CBDCA	AUC=6	div	1時間	d1

1コース期間 (次コースまでの標準期間)	3週間(1投2休)
総コース数	4-6回(終了後はアテゾリズマブ+BV維持療法)
コース間での休薬の規定	<ul style="list-style-type: none"> ・BV:尿蛋白(UPC比>2g/day以上) ・CBDCA、PTX:G3,4の好中球減少等Grade3以上の毒性 ・PTX:Grade2以上の末梢神経障害、T-bil上昇で検討 ・アテゾリズマブ:重篤またはコントロールができないirAE発現時

減量規定・中止基準	テセントリク、BV 減量基準はなし PTX、CBDCA ・減量基準 Grade3以上の骨髄毒性、FN、Grade2以上のT-bil上昇(PTX)、 Grade2以上の末梢神経障害(PTX) ・中止基準 PTX:重篤な肝障害、アレルギー反応等 テセントリク:重篤またはコントロールできないirAE出現時 BV:高血圧Grade3で降圧剤でコントロールできない場合または Grade4、肺出血Grade2、血栓症/塞栓症(静脈系)Grade4、血栓症/ 塞栓症(動脈系)Grade1以上、消化管穿孔Grade12以上、ネフロー ゼ症候群
投与量の増量規定	なし
投与期間の短縮規定	なし
コースによる変化	なし
1日の中での抗癌剤投与順	テセントリク→BV→PTX→CBDCA
プレメディケーション・ポストメディケーション	<プレメディケーション> day1:パロノセトロン0.75mg+イメンド(d1-d3) パクリタキセル投与30分毎にデキサメタゾン16.5mg、ファモチジン 20mg、レスタミン10mg5錠の投与を完了すること day2以降のデキサメタゾンは省略

患者条件(初回条件)

- ・PS 0~2
- ・非扁平上皮癌
- ・主要臓器機能に大きな異常がない

除外規定

- ・PS 3以上
- ・本剤又はパクリタキセル、アルブミンに対し重篤な過敏症の既往歴のある患者、他の白金製剤を含む薬剤に対し、重篤な過敏症の既往歴のある患者
- ・重篤な骨髄抑制のある患者

実施上の注意点

- ・CcrIに応じてCBDCA投与量は決定
- 慎重投与
- ・PS2以上
 - ・75歳以上の高齢者
 - ・自己免疫疾患のある患者
 - ・骨髄抑制のある患者
 - ・間質性肺炎、肺繊維症、又はこれらの疾患の既往歴のある患者
 - ・肝障害、腎障害のある患者
 - ・遺伝子変異陽性や、1st患者ではなくても良い(19.1.9時点)

その他(特記事項)

テセントリク、パクリタキセル

- ・本剤投与時にはインラインフィルターを使用

パクリタキセル

・本剤投与による重篤な過敏症状の発現を防止するため、本剤投与前に必ず前投薬を行うこと。前投薬としては本剤投与約12~14時間前及び約6~7時間前の2回、もしくは本剤投与約30分前の1回デキサメタゾンとして16.5mgを静脈内投与、本剤投与約30分前に塩酸ジフェンヒドラミンとして50mgを経口投与、本剤投与約30分前にファモチジンとして20mgを静脈内投与すること。